教区新報 HOYOG

'98 RENNYO-SHONIN BIG FESTA 500

発行所 浄土真宗本願寺派　兵庫教区教務所
〒650 神戸市中央区下山手通８丁目１番１号
（本願寺神戸別院内）
電話 神戸（078）341－5949㈹
〔編集〕教区基推委広報部

1997.1. 109号

もちつきで震災支援

150人 報恩講こどもの集い

十二月二十六日、震災支援「報恩講こどもの集い」を被災単位会を中心に百五十名余の子どもたち、指導者四十名の参加と門徒推進員、仏婦、仏青のご援助と少年連盟リーダーの運営で開催することができました。

当日、暖かい冬日の中、別院の正面玄関前に威勢のいい餅つきの音が響き渡りました。餅米、臼等々ご準備くださった門徒推進員の高原武市さんの手際よい運びで、参加した子どもたちも杵を持ち、所長様をはじめ、引率の指導者の方々と楽しく餅つきをしました。

餅つきの横では、スーパーボールすくい、ダーツゲーム、くじ引きなどで歓声があがっていました。

おときの炊き込みご飯の会食のあと、午後一時に喚鐘が鳴り響き、式典が始まりました。子どもたち全員参加で、淡路のご門徒ご懇志のカーネーションを一輪ずつ手に取り献華、四十八人による四十八本のローソクの厳かな献灯、つきたてのお餅の献供、正信偈（草譜）の唱和の後、高橋輪番から「金子みすゞ著の『すずと、小鳥と、それからわたし、みんなちがって、みんないい。』全てのいのちは全て輝いています。なもあみだぶつ。」とご法話いただきました。

順番にもちつきをする子どもたち

その後、アトラクションで専正寺れんげ会と信徳寺子供会の子どもたちにより真宗音頭に合わせ、手作りの「銭太鼓」の素晴らしい演技に大きな拍手。次に、大阪教区の一光文化協会（蒲生顕代表・榎並組正福寺）のお兄さん二人による「ゲームと人形劇」、最後にお楽しみの「ビンゴ大会」所長賞のCDラジカセが当った、田中ちひろちゃんは「お餅もおいしかったけどビンゴが一番楽しかった」と言ってくれました。興奮冷めやらぬ中「閉会のつどい」でお別れしました。

参加者は、専正寺れんげ会（阪神東組）源正寺土曜学校（同）竹の子子供会（阪神北組円行寺）勝福寺日曜学校（同）西念寺（神戸東組）信徳寺子供会（神戸中組）正念寺（同）真覺寺（同）善照寺（神戸湊）徳願寺（神明組）萬行寺仏教子供会（淡路組）浄光寺子供会（同）西福寺子ども会（加古川組）法性寺日校（姫路中組）法光寺（赤穂南組）願寿寺日曜学校（宍粟組）法覚寺子供会（佐用組）信楽寺子ども会（城崎組）モダン寺土曜子供会の皆様でした。

（少年連盟委員長 藤井章乗）

JAL・ANA・JAS、日本の航空会社名の略称なんだそうで日本語と外国語を合わせて作語して、横文字であらわそうとする今日の風潮の一例である。新聞・雑誌・論文・演説等に、カタカナまじりのない文章はないといってもよいような時代である。日本人固有の文化・思想を顕わす文字・言葉・文章等もだんだんと消えて、どこの国民かわからなくなって亡びてしまうかもしれない◆もともと、到来文化によって形成され、育てられた国民であるから、舶来品を好む国民性からくるのかもしれないが◆それなら「南無阿弥陀仏」ということも外来語であるのだからもう一度見直してみてはどうか。この六字には、いかに社会の風潮・文明が変わろうとも、苦悩のつきない人生を仏様から、いつ、どこで、どういう状態になろうとも、念仏する処に、私の身に滲みついて、支えているよ、護っているよと、働きかけてくださっている仏様の大きなちからなのだから。

（騰　瑞夢）

教区だより 1・2月

15日（水）～16日（木）
別院常例法座　村井　丹師　1時半
17日（金）
仏婦委員総会・新年懇親会　10時半
18日（土）～19日（日）
部落解放研究第18回兵庫県集会　神戸・西山記念館
19日（日）
阪神・淡路大震災物故者三回忌総追悼法要　別　院
20日（月）
須磨ノ浦女子高等学校起工式　10　時
門推幹事会（実行委員会）　10時半
別院仏婦報恩講　高橋廣爾師　1時半
22日（水）
連研推進委員会　1時半
24日（金）
基推委企画常任委員会　10　時
25日（土）
第２回まことの保育研修懇談会　10　時
25日（土）～26日（日）
第３連区門徒推進員研修協議会　大阪・津村別院
28日（火）
寺婦委員総会・新年懇親会　10時半
30日（木）
ビハーラ兵庫役員会　1時半
31日（金）
近畿ブロック保育連絡協議会　本　山
２月１日（土）
第一土曜仏教講座　菅　純和師　1時半
４日（火）
近同推役員会・研修会　大阪・人権博物館
８日（土）～９日（日）
教区連研履修者研修会　別　院
９日（日）～10日（月）
第４回ビハーラ全国集会　広島別院
12日（水）～13日（木）
近畿所長・議長・組長代表者会　神戸メリケンパークオリエンタルホテル
14日（金）
別院永代経開闢法要　1時半
15日（土）～16日（日）
別院常例法座　藤本唯成師　1時半

仏婦「ダーナ手帳」を発行

教区仏婦連盟（木村久子委員長）では、今年八冊目の「ダーナ手帳」を発行しました。十二話の法話を久堀弘義先生（神戸湊組行願寺）が「御文章」をテーマに執筆され、毎月左のページは、法話を味わい、右のページはカレンダーとして私のダーナ活動記録ができるよう工夫されています。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

また、ダーナ活動事例紹介として、木村委員長や三宅美智子副委員長、柴田克子副委員長、古谷英子委員、橋本志恵子委員が寄稿している。震災復興支援を通して仏婦活動の重要性を再認識させられた昨今、この手帳を活用し、私にとってダーナ（布施）とは何かを問いかけてみたい。

（新書判六十四ページ、四百円、ビニールカバー付教務所（担当尾井）まで送料実費。）

随筆「死」

―不可解な死への挑戦―

著者　楠　万千雄

「生まれてきた限り、みな、将来に死が約束されている。いろんな面で、未来が予知されないのに必ず死ぬという、これほど確かなわれわれの未来はない。」（同書から）

筆者は赤穂南組妙道寺住職で、日本図書刊行会に応募され、採用されました。

同書は近代文芸社が出版して日本図書館協会選定図書に申請され、毎日新聞やウィークリー出版情報・出版ニュース等々で紹介されています。

著者は、「この本は、宗教書や医学書ではなく、より多くの人に読んでもらえるように広い視野に立って書きました。小冊ですが、読んで頂き仏教（浄土真宗）のにおいを感じとってほしい。」と願っている。同書と一緒に「死」を考えてはいかがですか。

（B６判七十八ページ・定価千円。日本図書刊行会）

別院に花を生ける

別院の一階ホール前室に花壇があるが、ここに毎回お花を生けてくれているのが辻岡武子さん（高砂組教徳寺坊守・教区寺婦連盟委員長）。年末多忙にもかかわらず、今年の元日も前室と所長室、事務所前にお花を生けてくださいました。

辻岡さんは、特別室と前室に大型の花瓶を寄贈くださいましたが、教区や別院の行事のたびに花一式を持参してくださいます。いつも華やかな別院であってほしいとの辻岡さんの願いがこもっています。

＊

建設懇志進納総額

二十二億三千一百九十七万六千一百八円

※先月報告の金額は、本山からの借入金二億円を加算していました。

敬弔

北村　実師（きたむら・みのる＝本願寺豊岡教堂責任役員・城崎組光行寺門徒）十二月七日、六十六才で往生。葬儀は十二月八日、豊岡市元町の自宅で。「浄賢院釋実成」。

田中辰郎師（たなか・たつお＝揖龍西組浄教寺衆徒）十二月十三日、五十七才で往生。葬儀は十二月十五日、神戸市垂水区のさつき会館で。「浄信院釋顕誓」。

井上法順師（いのうえ・ほうじゅん＝本願寺江並教堂非常勤参勤・岡山北組光明寺前住職）十二月二十三日、八十六才で往生。葬儀は十二月二十三日、光明寺で。「明顕院釋法順」。昭和四十六年より本願寺江並教堂参勤事務取扱。平成六年よりは非常勤となる。昭和五十五年より昭和六十年まで住職在職六年。本願寺江並教堂での葬儀を一月二十七日に執り行う。

能仁つた子さん（のうにん・つたこ＝神戸東組光善寺前坊守）一月六日・八十二才で往生。葬儀は一月八日、光善寺で。「和純院釋尼春香」。

年頭挨拶

三本の矢

本願寺神戸別院輪番
兵庫教区教務所長
高橋廣爾

〝帰命無量寿如来〟お称名のなかに、新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

前任地の広島で、Jリーグ・サンフレッチェが活躍しています。サンは数字の三、フレッチェは矢という意味です。「三本の矢」というと、新春から始まったNHK大河ドラマの主人公「毛利元就」が、一族の結束を「三本の矢」に喩えて子供に託したという故事を思い出します。

ところが、単純に三本の矢を束ねて曲げると一本の三倍であるが、最も効果的に束ねると約三十五倍の強さが得られる。更に三本から六本の角材を効果的に束ねると最大で約二百倍の強度となる。それが、世界一の木造のアーチ橋。岩国の「錦帯橋」の美しさの陰に潜む「たばね」の智恵である……と。新聞のコラムで学びました。

いよいよ、平成十年の蓮如上人ご遠忌法要の前年を迎えました。

今年七月に「教区蓮如上人五百回遠忌法要」、十月に「第二回御同朋総結集大会（蓮如上人五百回遠忌記念行事）」の開催に向けての企画準備が積み重ねられております。

本年は、全ての教区でご法要と記念行事がお勤まりになり、宗門あげてのご法要への気運が昂揚されることであります。

経典に「倶会一処」「千二百五十人倶」「大衆倶」とありますように、信心の人は、「倶ーともにー」あろうとする人間になることだといただきます。

人びとのふれあい。ひとりの人へのよびかけ。そして、三人が六人と効果的「たばね」の智恵が、大いなる〝変革〟のうねりを生むものと期待します。

今年も、皆様の暖かいご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げまして、年頭のご挨拶といたします。

新旧所長 歓送迎会

122人が出席

昨年十二月十三日、神戸チサンホテル「六甲の間」で、高橋廣爾新所長、土基謙教前所長の歓送迎会が、百二十二名の出席を得て盛大に行われた。

まず、発起人を代表して田中法劔教区会議長が、前所長のご苦労に感謝し、新所長への期待を挨拶され、次に前所長へ、別院・教区からの慰労金が藤田時男教区会副議長本願寺参与・別院総代から手渡された。

前所長は、在任五年二ヶ月を振り返り、別院改築・教化センター設立と完成記念法要の円成が教区内寺院門信徒の皆様のご懇念によって無事大過なく果たせたことを喜ばれ、今後は滋賀教区の一住職として邁進することを感涙の中に挨拶された。

新所長は、完成なった別院・教化センターが、建物だけに終わることなく基幹運動推進の中枢センターとして、今後活用する責務の重任を感じていると力強く挨拶された。

両所長に、辻岡武子寺婦委員長、木村久子仏婦委員長から花束が贈呈され、山崎一朗基推委副会長の乾杯の発声で祝宴が始まった。

九折舜壽総務、豊原大成前総務、近藤常吉別院責任役員、多田実総代会会長からお祝いのことば、また、出席者からの記念品を久堀弘義基推委副会長から続いて各教化団体からお餞別が渡された。

最後に、山本宣昭組長会代表から、教区一丸となって基幹運動推進に力を注ぐことを誓い合って和やかな宴を閉じた。

新旧教務所長・

握手を交す土基前所長（右）と高橋新所長

九折・菅両議員 祝賀の集い

和やかな九折総務（右）と菅所長

昨年八月二十六日付で総務に就任された、教区選出宗会議員の九折舜壽師（揖龍西組正専寺）と十月一日付で本願寺御影堂修復準備事務所長に就任された菅義成師（網干組聖安寺）の両師祝賀の集いが、十二月二十五日、市内の料亭「鈴江」で七十余名の出席を得て盛大裡に開催された。

開会の辞を田中法劔教区会議長から、続いて発起人を代表して、高橋廣爾教務所長が両師のご就任は教区の誇りであり、益々のご活躍をお願いしたいと挨拶された。

引き続き、両師からそれぞれご挨拶をいただき、堀静男教区選出宗会議員の乾杯の発声で祝宴が始まり、豊原大成教区選出宗会議員が両師へのご苦労をねぎらい、今後の職責に期待をこめて祝詞を述べられた。

参加者は、和やかな喜びのなかで盃を重ね、日頃のご自慢も披露され、終始にこやかなムードで集いが進められ、最後は両師に二人の女子職員から花束が贈られ、山本宣昭組長会代表の両師への力強い期待を望む閉会のことばをもって終了した。

組長など任期一年延長

HO日誌

◆12月2日～3日＝豊岡教堂報恩講。講師は岡橋聖舟師（京都教区城南組西方寺）◆復興支援の会を別院で◆4日＝組長ブロック長会議を別院で◆4日～5日＝教区相談員研修会が本山で◆5日＝回答書テキスト作成委員会が別院で◆布教使育成研修会が別院で。講師は佐々木正典師（備後教区沼隈組浄泉坊）テーマは「現代の宗教状況と真宗教義」◆6日＝神戸中組忘年会が第一楼で。高橋教務所長が出席◆7日＝第一土曜講座を別院で。講師は畠山忠師（兵庫女子短期大学教授）テーマは「存在の深き淵より」◆9日＝ボランティア大阪より別院に団体参拝◆復興支援の会を別院で◆10日～11日＝第三連区教区推進専従職連絡協議会が名古屋別院で◆12日＝ビハーラ兵庫研修会が別院で。講師は西光義敞師（奈良教区宇陀北組万行寺）テーマは、「育ち合う人間関係」◆少年連盟役員会を別院で◆矯正教化連盟兵庫教区支部研修会を別院で。講師は栗村典男師（神戸保護観察所長）テーマは「犯罪非行者の動向とその精神的要因」。研修会開会式で、前支部長の土基謙教師に記念品を会員から贈呈された。副支部長を五期十年務められ本年度顧問となられた、尾崎普賢師（播磨中組教福寺）に感謝状と記念品が贈呈された同師は播磨学園の宗教教誨師。終了後、新旧支部長を交えて懇親会。◆13日＝門徒総代会役員会を別院で。◆蓮如上人五百回遠忌法要・第二回御同朋総結集大会企画委員会を別院で◆新旧教務所長歓送迎会を神戸チサンホテルで◆新旧教務所長・職員歓送迎会を竹仙で◆14日＝別院永代経開闢法要◆14日～15日＝仏壮幹部一泊研修会を別院で。講師は應供乗生師（城崎組清蓮寺）◆15日～16日＝別院常例法座。講師は森田智師（播磨東組妙覚寺）◆16日＝復興支援の会を別院で◆18日＝布教団役員会を別院で。終了後、鈴江で懇親会◆門推幹事会・結成十周年記念行事実行委員会を別院で。九年度に結成十周年を迎え記念大会・記念行事を計画◆19日＝九折裁判を支援する会が別院で◆20日＝災害対策委員会常任委員会を別院で◆22日＝江並教堂報恩講。講師は西脇修師（揖龍西組超念寺）◆24日＝復興支援の会を別院で◆25日＝組長会を別院で。内容は、一、蓮如上人五百回遠忌法要に関連して、①組長等の任期延長に関する特別宗則が十一月八日に発布されたことにより、平成六年四月一日から平成十年三月三十一日までの任期であったものが、平成十一年三月三十一日までの任期となる。対象は、組長、組会協議会議員、教区会議員、基幹運動推進委員会役職者②法要団参日程③組ご消息披露実施現況④総合計画懇志組別収納状況一覧二、災害対策関係について①阪神・淡路大震災物故者三回忌総追悼法要を平成九年一月十九日午後二時から別院本堂にて勤修②救援活動参加団体・グループ等調査報告依頼③義援金終始現況三、庶務関係①第七回宗勢基本調査組別回収状況、十一月十九日現在回収率は五十七・五％②年末年始休暇中の事務四、教化部門について①理事長差別発言問題に関する連絡②教区連研履修者研修会の開催③同朋講座実施現況④仏壮単位結成促進依頼（出田求理事長、小林元彦副理事長、松井信博常任理事の三名が組長会にて仏壮結成促進を訴えた）五、別院改築・教化センター設立関係について①懇志進納状況報告②納骨壇申し込みについて六、その他①仏婦ダーナ手帳を発行②別院・センター完成記念慶讃法要ビデオを各組へ贈呈◆九折舜壽総務・菅義成本願寺御影堂修復準備事務所長祝賀の集いを市内の料亭「鈴江」で◆26日＝震災支援「報恩講こどもの集い」を別院で◆27日＝仏青「年忘れヤングひろば」を法性寺（姫路中組）で◆28日＝別院・教務所事務終了式◆31日＝除夜会◆1月1日＝別院元旦会。

「納骨所」新規受付開始

別院の納骨所は、普通区画、小型区画はすでに受付が終了し、特別区画だけが残っていましたが、この度ご要望にお答えして、従来の特別区画を四分割し、新たに特別壇（小型区画）として一百九十六基を設置し申し込みを受け付けることにしました。使用懇志額は一基一百万円以上（下段のみ九十万円以上）、年次維持冥加金五千円です。尚、特別区画も引き続いて使用申し込みを受け付けています。使用懇志額は、一基三百六十万円以上（残り二十一基）、年次維持冥加金八千円です。お問い合わせ・お申し込みは担当北村まで。

布教団・基幹運動研修会にご参加を

教区布教団（高橋廣爾団長）では、昨年に引き続き「基幹運動研修会」を二月二十四日（月）午後一時半から四時十分まで、別院を会場に開催いたします。講師は、久堀弘義師（基推委副会長・神戸湊組行願寺）で講題は、「同朋運動テキストについて」―業と真俗二諦を中心に―です。（詳細は、担当安井まで。）

謹賀新年

浄土真宗本願寺派
本願寺神戸別院輪番
兵庫教区教務所長
高橋廣爾

賛事・参賛事・参賛事・参